



厚生労働省 医政局長賞

自治体部門 優秀賞

医療のコミュニケーションギャップを 視点の違いにより描く「医療マンガ大賞」!

横浜市

取組の経緯について

- 医療提供体制を将来にわたり持続的なものとするために、行政・医療機関に加えて、**実際に医療を受ける市民の理解や協力が必要**
- 主目的は、医療に**関心の低い方の興味を引き、共感を促進すること**
- 医療マンガ大賞は、2018年に開始した広報プロジェクトである「**医療の視点**」で実施した**施策のうちの一つ**。

事業の概要と特徴

- 患者と医療従事者では、臨床での出来事の捉え方が異なるという点に着目。**原作エピソードを双方の視点からマンガ化**
- 原作は「人生の最終段階」など複数テーマ、**協力企業からの提供**
- 応募数は延べ133作品。受賞した33作品は全て**webで公開中**

医療のかかり方を変えていくポイント

- グラデーションある医療の複雑さを、**マンガの表現**を用いた広報
- 市民の関心事を踏まえ、**多様な情報チャネル**から発信すること
- 1度で伝えきろうとせず、**伝わり、話題にのぼる工夫**をすること



医療マンガ大賞

同じ世界を、違う視点で描くマンガ賞



医療の視点

YOKOHAMA